

ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2024年4月

販促・魅力発信

- 海外の方に、日本食や食文化の魅力発信を通じて、日本産水産物等の需要開拓及び販売促進、消費拡大を促進することために、**台湾、米国、シンガポールなど5カ国で販売会・商談会や現地レストランによるプロモーション等を実施した。**
- 台湾では、2月20日～25日に百貨店による販売会の販促イベントなどを行った。**2,300人を超える来場があった。**
- 米国では、3月12日～17日の間、日本の食文化や食材に理解の高いサンフランシスコ近郊の**6つのレストラン・施設にて、日本産ホタテ等のメニューコラボレーション及び喫食イベントを開催し、計約1,400食のスペシャルメニューを提供した。**
- シンガポールでは、3月6日に**BtoB商談会の実施しホタテ約500kg等の水産物が成約。**また、2月27日～3月12日に人気の**2つのレストランでホタテを使ったメニュー提供を行い、計210食を販売した。**

台湾百貨店販促イベント



▲販促イベントの様子

米国レストランメニューコラボレーション



boiled hokkaido scallops,
xo sauce, spring alliums \$28



Ita Wasa (fish cake made with scallop from
Hokkaido Japan and local halibut) \$12



Scallop Sashimi (with mendo cino nori, moro
blood oranges, kumquat serrano
koshu, yakaw avocado, hikari farms
cucumbers, frilly mustard greens, and yuzu
ponzu) \$30

▲コラボメニュー

シンガポール商談会・レストランPR



▲商談会の様子



▲レストランホタテメニュー

- 3月23日（土）・24日（日）の2日間、**栃木県那須町の「道の駅東山道伊王野」にて、福島相双復興推進機構の主催で福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店した。**
- 福島県漁連をはじめとした**福島県の水産加工業者など11社の商品29品を販売。**また、マルリフーズのあおさ海苔を用いた「あおさの中華スープ」、岩下商店の「あおさ海苔・いか人参入りちぎり揚げ」を用いた「ちぎり揚げおでん仕立て」、福島県漁連の「さんまのポーポー焼き」などの試食を実施した。
- また、23日には、**那須町の平山町長にもご来場いただき、福島県の水産物をPRいただいた。**平山町長からは「このようなイベントは町の活性化にもなる。秋の祭りにもぜひ参加してほしい」とのお言葉をいただいた。

ふくしま常磐大漁市 in 道の駅東山道伊王野



会場の様子



試食の様子（平山町長（中央））



平山町長（右）

■ 来場者の声

「もてぎ、那須与一の郷でも福島の水産品を購入して美味しかったので伊王野にも来た」「メヒカリ唐揚げが好きなのでうれしいが、メヒカリ開きは珍しいので両方買う」など、応援する声が多く寄せられた。

- 2024年3月5～8日、日本最大級の総合食品見本市である「**FOODEX JAPAN 2024**」に**水産パビリオン**を設置。**青森、宮城、秋田、山形、福島、茨城**などから**水産事業者29社**が**出展**し、来場者と活発な商談を行った。
- 主催者とも協力し、**海外32国・地域の128名のバイヤーと出展事業者との商談を組成**した。

FOODEX JAPAN 2024

■ 見本市概要

- ・ 会期：2024年3月5～8日
- ・ 会場：東京ビッグサイト
- ・ 主催者：一般社団法人日本能率協会 他
- ・ 総来場者：76,183名

■ 水産パビリオン概要および結果

- ・ 出品者数：水産事業者29社
（青森、宮城、秋田、山形、福島、茨城など）
- ・ 出品物：牡蠣、ホタテ、カンパチ、ブリ、マグロ、タコ、練り物、海苔等

（海外バイヤーとの商談）

- ・ 主催者と協力し、海外32国・地域128名のバイヤーとの事前マッチング等を実施。「東南アジア等から想定以上の引き合いがあった」など出展者から評価を得た。
- ・ 武村農水副大臣、及び上月経産副大臣もパビリオンを訪れ、ジェトロの取組を評価いただいた。



ジェトロが設けた水産パビリオンの様子

- 2024年3月10～12日、北米最大の水産専門見本市である**Seafood Expo North America 2024（米国・ボストン）**に**ジャパンパビリオンを設置**。**茨城県や千葉県**の**5社・団体を含む19社・団体が出展**し、日本産水産物等の新たな販路開拓を支援。
- 日本産水産物の輸出先多角化に向けた取り組みとしてジャパンパビリオンを設置。事前の商談アレンジも行い、商談を支援。またサイドイベントとして「日本産水産物の魅力発信プロモーション in ボストン」を実施した。

Seafood Expo North America 2024

■見本市概要

- ・ 会期：2024年3月10～12日
- ・ 会場：米国・ボストン（Boston Convention & Exhibition Center）
- ・ 主催者：Diversified Communications
- ・ 出展者数：1,212社（速報値）
- ・ 来場者数：未発表（前回2023年実績：18,901人）

■ジャパンパビリオン概要および結果

- ・ 出品者数：19社・団体
- ・ 出品物：日本産水産物（ブリ、タイ、ホタテ、ハマチ、等）
- ・ 茨城県、千葉県からの主な出品物：タイ、サバ、タコ、等

■日本産水産物プロモーションイベント概要

- ・ イベント名：Discover All the Charms of Japanese Seafood in Boston
- ・ 日時：2024年3月11日（月）12:00～14:00
- ・ 会場：The Westin Boston Seaport District Hotel
- ・ 内容：在米国の著名な日本人シェフによる日本産水産物の魅力紹介および調理デモ・試食提供



ジャパンパビリオンの様子



日本産水産物プロモーションイベントでの調理デモ

- 23年11月～24年3月にかけて、JAPAN MALL事業（海外におけるEC販売プロジェクト）の一環として、**世界14か国・地域**（米国、カナダ、英国、オランダ、ドイツ、ベルギー、スペイン、チェコ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インド、UAE、台湾）にて、各国のECバイヤー等と連携し、日本産水産物の海外ECサイトでの販売・プロモーション等を支援。
- 海外ECサイトでは**北海道、青森、岩手、宮城、福島等の水産物を販売**するとともに、**海外の動画配信プラットフォームである「Crunch Roll」及び「Rakuten Viki」による日本産水産物のPR**等を行って販売拡大に向けた取り組みを行った結果、**期間中の販売額は約1.2億円を達成**。

水産物輸出拡大に向けたJAPAN MALL事業の取り組み例



海外ECサイト「Weee！」での
日本産水産物特集（米国）



海外ECサイト「Summit Trading Webstore」での
日本産水産物特集（UAE）



海外ECサイト「鮮拾」での日本産水産物特集（台湾）

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ ふくしま」の取り組みの一環として、「**ふくしまシティハーフマラソン2024**」会場に隣接している信夫ヶ丘球場(福島市古川)で開催される「**おもてなしパーク**」に「**発見！ ふくしま**」ブースを出店し、「**常磐もの**」を使った**ブイヤベース**や**福島牛**を使ったメニューをマラソンランナーや応援者に提供する。
- 米国・シカゴで開催される米国最大級のレストラン・食品サービス関連の見本市「**National Restaurant Association Show 2024**」ジャパンパビリオンに「**発見！ ふくしま**」ブースを出展し、福島県産「**天のつぶ**」の精米や**パックライス**を出品する。
- 広島市中区の平和記念公園・平和大通り一帯を主会場に開催される「**2024ひろしまフラワーフェスティバル**」にブースを出店し、**北海道産ホタテ**や**福島県産メヒカリ**などを使用したメニューを提供する。

ふくしまシティハーフマラソン2024 「おもてなしパーク」

- 日程：5月19日（日）
8:30～13:30
- 場所：福島市古川 信夫ヶ丘球場



▲信夫ヶ丘球場



▲提供メニュー（イメージ）

National Restaurant Association Show 2024

- 日程：5月18日（土）～21日（火）
- 場所：米国・シカゴ マコーミックプレイス



▲出展ブース（イメージ）



▲マコーミックプレイス

「2024ひろしまフラワーフェスティバル」の 全国観光・物産展

- 日程：5月3日（祝・金）～5日（日）
- 場所：広島市中区
平和記念公園・平和大通り



▲平和大通り

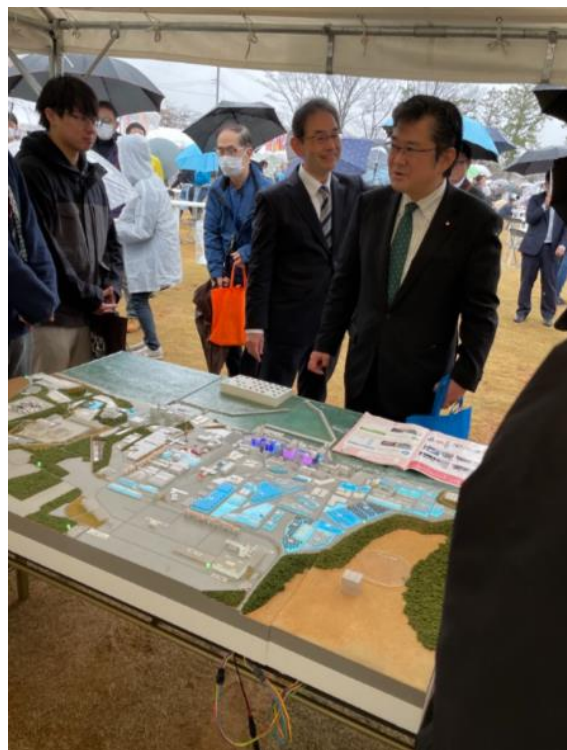


▲提供メニュー（イメージ）

理解釀成

- 本年4月6日、7日に富岡町で開催された「夜の森桜まつり2024」において、**東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS 処理水に関するブースを出展**。来場者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明するとともに、パンフレットの配布を行った。

イベントの様子



- 廃炉・汚染水・処理水対策や東京電力福島第一原子力発電所の現状をまとめたパンフレット（２種類）を作成。
経済産業省のWEBサイトでも公開。

廃炉の大切な話

- 廃炉・汚染水・処理水対策や東京電力福島第一原子力発電所の現状に関する疑問等にお答えする形で内容を構成



PDFはこちら



HAIRO MIRAI

- 学生の皆さんに、廃炉に対する理解を深め、福島未来を考えるきっかけとしてもらえるよう内容を構成



PDFはこちら



日中専門家対話

- 2024年3月31日、東京電力福島第一原子力発電所における**ALPS処理水の海洋放出に関する日中の専門家間の対話を中国・大連にて開催**した。
- 双方はALPS処理水をめぐる技術的事項について意見交換を行った。

原子力エネルギーに関する日仏委員会（第12回）の開催

- 2024年4月15日、フランス・パリにおいて、北川克郎・外務省軍縮不拡散・科学部長及びフランソワ・ジャック仏原子力・代替エネルギー長官の共同議長の下、**原子力エネルギーに関する日仏委員会第12回会合が開催**された。
- 今回の会合では、**東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の現状、ALPS処理水の海洋放出含め、原子力エネルギーに関する幅広い分野について有意義な意見交換**が行われた。



- 2024年4月10日、岸田総理は米国・ワシントンを訪れ、ジョセフ・バイデン米国大統領と会談を実施。
- 両首脳は日米首脳共同声明「未来のためのグローバル・パートナー」を発出。
- 本共同声明において、バイデン大統領は、日本による東京電力福島第一原子力発電所の多核種除去設備（ALPS）処理水の、科学的根拠に基づく、安全かつ責任ある海洋放出を賞賛した。日米両国は、燃料デブリ取出しのための研究協力に焦点を当てた福島第一廃炉パートナーシップの立ち上げを計画している。



▲日米首脳会談



▲日米共同記者会見

- 2024年4月23日から26日にかけて、**IAEA（国際原子力機関）の職員及び国際専門家からなるIAEAタスクフォースが来日し、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー**が行われた。
- 海洋放出開始後 2 回目となる今回のミッションにおいて、グスタヴォ・カルーソ原子力安全・核セキュリティ局調整官を含む6名のIAEA職員と9名の国際専門家（アルゼンチン、英国、オーストラリア、韓国、中国、フランス、ロシア、米国、ベトナム）が日本を訪れ、ALPS処理水の海洋放出に関するレビューミッションが行われた。
- 今回のレビューミッションでは、**日本側から2023年度のALPS処理水の放出実績や2024年度の放出計画に関する情報提供を行うとともに、IAEAの国際安全基準に則り放出開始後の取組状況について説明**を行い、議論を実施した。
- また、**IAEA職員及び国際専門家は、東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、ALPS処理水の海洋放出設備の状況について現地確認**を行った。



▲日本政府及び東京電力との会合



▲東京電力福島第一原子力発電所の現地調査

- 今年度は、**福島県にお住まいの方**又は**2011年3月11日時点で県内にお住まいだった方**を対象に、**月に1回、福島第一原発の「視察・座談会」**を実施。座談会には、資源エネルギー庁の職員も同席し、住民の皆様からのご質問やご意見をお伺いする。

【福島県の皆さまへのご案内】

東京電力ホールディングス株式会社主催

2024年度

福島第一原子力発電所 視察・座談会



廃炉作業はどのくらい進んでいるの？ALPS処理水は安全なの？
そんな疑問をお持ちの皆さまに向けて、福島第一原子力発電所
構内の視察、座談会を開催しています。
ぜひ、福島第一原子力発電所の最新状況を直接ご覧いただき、
廃炉やALPS処理水に関する疑問やご意見をお聞かせください。

【開催日程】

第1回 2024年 4月13日（土）	第7回 2024年10月 5日（土）
第2回 2024年 5月11日（土）	第8回 2024年11月 9日（土）
第3回 2024年 6月 8日（土）	第9回 2024年12月14日（土）
第4回 2024年 7月 6日（土）	第10回 2025年 1月18日（土）
第5回 2024年 8月10日（土）	第11回 2025年 2月 8日（土）
第6回 2024年 9月 7日（土）	第12回 2025年 3月 8日（土）

【スケジュール（予定）】

12:00 廃炉資料館（富岡町）
集合
13:40 福島第一原子力発電所
視察
15:20 座談会（廃炉資料館）
16:00 解散（目途）

座談会は意見交換の場です。
疑問・ご意見をいただく方法は、
アンケート希望など相談可

※申し込みをご希望される方は、裏面をご覧ください。

※新型コロナウイルス等の感染状況により、スケジュールの変更または中止
となる可能性がございますので、予めご了承ください。

＜募集人数＞ 各回とも40名

※先着順での申し込み受付となります。申し込み数が募集人数に達した場合、
個別に参加日を調整させていただきます。

※ご参加いただける方には、締切終了後1週間以内にご連絡を差し上げます。

＜各回申し込み期限＞

第1回（4/13）：3月29日（金）	第7回（10/ 5）：9月20日（金）
第2回（5/11）：4月26日（金）	第8回（11/ 9）：10月25日（金）
第3回（6/ 8）：5月24日（金）	第9回（12/14）：11月29日（金）
第4回（7/ 6）：6月21日（金）	第10回（1/18）：12月27日（金）
第5回（8/10）：7月26日（金）	第11回（2/ 8）：1月24日（金）
第6回（9/ 7）：8月23日（金）	第12回（3/ 8）：2月21日（金）

＜申し込み条件＞

原則、以下の条件をすべて満たす方が対象となります。

- （1）18歳以上の方
- （2）**現在、県内にお住まいの方** または、
2011年3月11日時点で**県内にお住まいだった方**
- （3）東京電力廃炉資料館に現地集合できる方
（双葉郡富岡町中央3丁目58番地）

＜その他＞

※本視察・座談会には、メディアの取材が入る可能性があります。

予めご了承ください。メディアの取材が入る場合は事前にご連絡いたします。

※本視察では放射線被ばくを伴いますが、被ばく線量は0.01～0.02ミリシーベルト（歯科レントゲン1～2回相当）を想定しています。

※参加をご希望の方に申込資料をお送りいたしますので、下記までお問い合わせください。

●申込先・お問い合わせ先●

東京電力廃炉資料館内 東双不動産管理株式会社
事業運営部 視察運営グループ
〒979-1112 双葉郡富岡町中央3丁目58番地
Tel: 080-5555-7988 / Fax: 0240-30-1140
電話受付：平日9時～17時（土日祝日を除く）
e-mail：1Fshisatsuzadankai@tepcoco.jp
HP：https://www.tepcoco.jp/decommission/information/newsrelease/zadankai-j.html

ホームページQRコード



安全確保

東京電力

○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

水産庁

○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

環境省

○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸 20 地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

（参考）原子力規制庁

○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



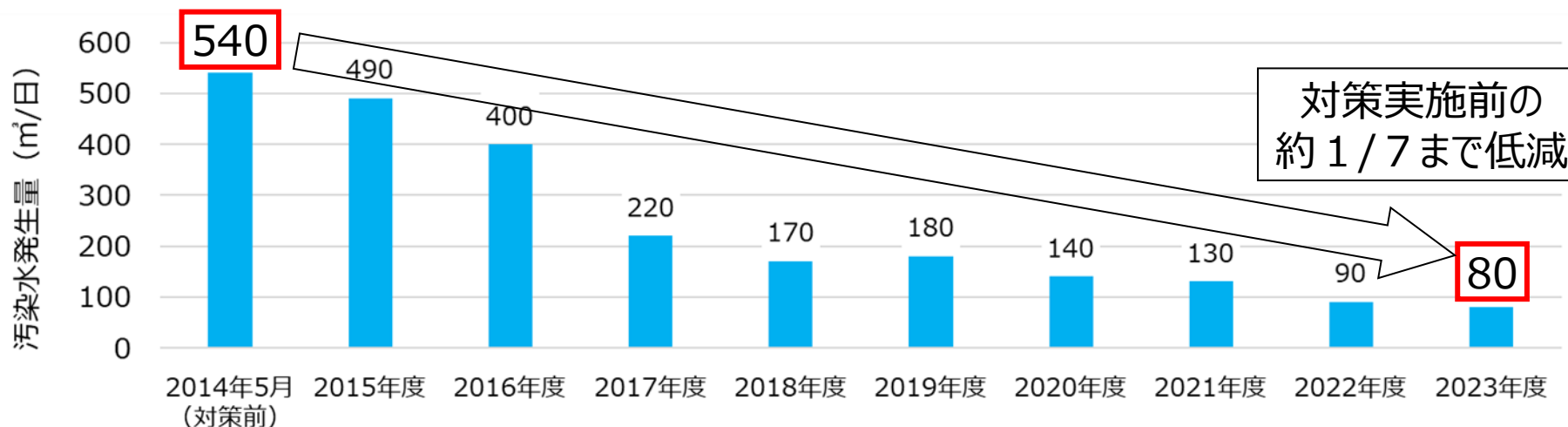
計画どおりに安全に放出できていることを確認

- **2023年度は、建屋周辺の敷地舗装等の対策の効果により、汚染水発生量は約80m³/日(過去最少)^{*}となった。**

※2023年度の降雨量は1,275mmであり、平年（約1,470mm）と比較すると約200mm少ない。

- **降雨量が平年並だったとしても、汚染水発生量は約90m³/日と評価。**
- **中長期ロードマップの「2025年内に平均的な降雨に対して汚染水発生量を100m³/日以下に抑制する」目標を2年程度前倒しで達成したことを確認。**

中長期ロードマップにおける目標（内容と時期）	達成時期
平均的な降雨に対して150m ³ /日程度に抑制（2020年内）	2020年実績で達成（約140m ³ /日）
平均的な降雨に対して100m ³ /日以下に抑制（2025年内）	今回（2023年度実績）達成



今後は「2028年度までに汚染水発生量を約50～70 m³/日に低減」すべく、1～4号機建屋周辺の敷地舗装、1号機原子炉建屋カバー、建屋間ギャップ端部の止水等の対策を進めていく。

- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年4月も2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

新聞への広告掲載内容（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：第35回）

福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ(2024年4月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視(モニタリング)を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/ℓ)を大きく下回る結果となっています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内(港湾内を除く) 20km圏内

エリア	海水の測定結果【単位:ベクレル/ℓ】 (2024年3月1日～3月末までに得られた測定結果の最大値)
トリチウム [迅速測定**]	3km圏内 16 20km圏内 検出せず(<0.1)
セシウム134**	3km圏内 検出せず(<0.98) 20km圏内 0.0015
セシウム137**	3km圏内 検出せず(<0.88) 20km圏内 0.11

【参考】トリチウム濃度の比較

単位:ベクレル/ℓ

国の規制基準(排水口)**

世界保健機関(WHO)飲料水水質ガイドライン

放出停止判断レベル** (発電所から3km以内)

調査レベル** (発電所から3km以内)

日本全国の海水** 過去の観測範囲

※1. 原子力施設の排水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓを飲み続けた場合に一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる量を算出し、それを基準とした濃度を算出

※2. 放出停止を判断する際の指標

※3. 1,500ベクレル/ℓ以下の濃度で放出されたALPS処理水のトリチウム濃度の上限(国の規制基準の1/40)

※4. 長期間の濃度の低さを示すための指標

海域モニタリングの結果

当社が測定した海水や汚染物の放射性物質濃度、
有意な変動は確認されていません。
詳細は当社ホームページをご覧ください。
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/monitoring/>

包括的モニタリング観測システム(ORBS)

当社以外の各種観測(環境省、水産庁、原子力規制委員会、福島県)が測定した海水
および汚染物の放射性物質濃度も有意な変動は確認されていません。
詳細は各機関の分析結果を一元的に確認できるORBSをご覧ください。
<https://www.monitororbs.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー (福島県東部大熊町大字大沢)

福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.35

2024年度のALPS処理水の海洋放出は、全7回を計画しています。

▶ 2023年度の海洋放出は、計画どおり(全4回)、安全に実施されました。
▶ 2024年度は、放出回数:全7回、放出水量:約54,600㎥、トリチウム放出量:約14兆ベクレルを計画しています。

年度	回数	処理水の 放出量	トリチウム総量 [22兆ベクレル]	トリチウム以外の 放射性物質の濃度	希釈後のトリチウム濃度** (1,500ベクレル/リットル未満*)	海水のトリチウム濃度のモニタリング結果 (迅速測定**)	
						発電所から 3km以内	発電所正面から 10km四方
2024 計画	7回	約54,600㎥	約14.0 兆ベクレル	最新の状況は「処理水ポータルサイト」でご覧いただけます https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/			
2023 実績	4回	31,145㎥	約4.5兆 ベクレル	希釈後の濃度:0.25～0.34 ベクレル/リットル	最大230 ベクレル/リットル	最大22 ベクレル/リットル	

※1. トリチウム濃度のモニタリング結果は1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定結果を算出し、濃度を算出して迅速に結果を算出

※2. 放出停止を判断する際の指標

※3. 1,500ベクレル/リットル以下の濃度で放出されたALPS処理水のトリチウム濃度の上限(国の規制基準の1/40)

※4. 長期間の濃度の低さを示すための指標

● ALPS処理水の海洋放出に関する情報を正確かつわかりやすい形で国内外に発信してまいります。

ALPS処理水の海洋放出の状況についてはこちらをご覧ください
▶ [放出実績]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/performance_of_discharge/

各機関が公開した海域モニタリングのデータはこちらをご覧ください
▶ [包括的モニタリング観測システム(ORBS)]
<https://www.monitororbs.jp/ja/index.html>

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・環境対策
▶ [皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
〒979-1301 福島県東部大熊町大字大沢22